

次期京都市基本計画策定に向けて

京都市はぐくみ推進審議会においては、各部会及び共同部会で、令和2年度を始期とした「子ども・若者に係る総合的な計画（以下「新計画」という。）」の策定に向け、活発な議論を行っていただいております。

本市では、新計画の策定に加え、現在、令和3年度を始期とする次期京都市基本計画（以下「次期基本計画」という。）の策定に向け、全庁一丸となって取組を進めているところです。

次期基本計画の策定に当たっては、分野別計画となる新計画策定に係る議論内容を十分に踏まえ、策定してまいりたいと考えておりますので、引き続き、次期基本計画を見据えた活発な御議論をよろしくお願いいたします。

なお、今後、令和2年度に予定しております、次期基本計画に係るパブリック・コメント実施時には改めて、御意見等を頂戴したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

1 次期基本計画の位置付け

2001年（平成13年）から2025年（令和7年）までの京都のグランドビジョンである京都市基本構想の実現に向け、これまで2期にわたって10年間を計画期間とする基本計画を策定し、推進してきました。

次期基本計画は、基本構想の残り5年間、2021年度（令和3年度）から2025年（令和7年度）を計画期間とする3期目の計画となります。

2 次期基本計画の策定の進め方

京都市政に広範な知見を有する有識者、関わりの深い関係団体、公募委員等による基本計画審議会を設置し、数多くの分野別計画や各種の審議会に屋上屋を重ねることのないよう、これらにおける議論を最大限に活用するとともに、複数の行政分野を融合し、特に優先的に取り組むべき「重点戦略」の進化を中心に、効率的、効果的な議論を行っていきます。

もとより、行政においても、審議会における活発な議論を下支えするため、市長をトップとする庁内組織を設置し、新たな政策立案に向けて徹底した議論を行います。

政策の推進に当たっては、京都市と連携している各種団体等との意見交換やパブリック・コメントなどを通じて、多くの市民から意見を伺いながら、策定します。

3 今後のスケジュール

令和元年度 「京都市基本計画審議会」を設置

令和2年度 パブリック・コメントを実施

市会へ基本計画案を提案